

令和6年度

印西市民アカデミーだより

第8号

講座11：相続について学ぶ

8月23日（金）、講座「相続について学ぶ」を実施しました。「相続」に関することを現役の弁護士から直接話を聞ける機会は滅多にないので、関心も高く、楽しみにしていた講座の一つです。いざ、お話を伺うと、様々な法律や手続きはどの専門的な知識が必要で、相続が争続にならないよう生前に準備しておくことが大切であるということがわかりました。

1. 相続とは(受け継ぐ側の話)

相続を考えるときは、①遺言はあるか ②相続は誰か、相続人の相続分はどれか ③相続財産は何か、どのように分けるのかの3点がポイントになります。

2. 遺言について

「遺言」とは、遺（のこ）す側の考えです。遺言で決めることは「身分に関すること」と「財産に関すること」の2点。特に法定相続人以外に想定相続分以上残したいときには「遺言」が必須となります。遺言には自筆証明遺言と公正証書遺言の2種類があり、それぞれのメリット・デメリットを比較して準備しておくことが大切です。

👉 弁護士の先生から



講座12：印西のスタートアップについて学ぶ

9月6日（金）、講座「印西のスタートアップについて学ぶ」を実施しました。

「人生100年時代」をどう生きるのか？ボランティア、社会貢献活動、趣味、地域コミュニティ活動、元気な限り働き続ける……。生き方はいろいろありますが、人生100年時代では、従来の「教育を受け、社会で働き、定年を迎えて余生を送る」といった、これまでのライフプランが通用しなくなっているのも現代の状況です。

現役で働き続けるためには、①企業等で雇用される、②スタートアップ（起業）する方法があります。スタートアップとは、新規事業を立ち上げる企業や個人のことをいいます。

今回は、印西市商工会の事務局長の九鬼氏からは主に「起業支援について」、また、実際に起業されている「おうち保育園」の八木氏からは、主に「印西で起業した理由」「起業に必要なこと」「起業しての感想・体験談」等について、具体例を交えながらわかりやすく講義していただきました。スタートアップとは、自分からは遠い存在というイメージがありましたが、これからの社会の現実や「学ぶこと」「働くこと」そして「生きること」について、改めて深く考えさせられる講座となりました。



👉 印西市商工会：起業支援



👉 起業から学んだこと